



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月2日

上場会社名 トピー工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7231 URL <http://www.topv.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 信彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 立花 修一 TEL 03-3493-0777
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	161,030	△20.5	△2,491	—	△1,033	—	△2,165	—
2020年3月期第3四半期	202,628	△4.7	3,881	△27.1	3,941	△29.4	2,519	△34.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 111百万円 (△96.7%) 2020年3月期第3四半期 3,409百万円 (81.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△92.24	—
2020年3月期第3四半期	107.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	265,751	103,646	38.6	4,408.51
2020年3月期	254,659	103,800	40.3	4,372.66

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 102,701百万円 2020年3月期 102,732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	0.00	40.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,000	△17.6	△2,500	—	△1,500	—	△2,500	—	△106.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	24,077,510株	2020年3月期	24,077,510株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	781,413株	2020年3月期	583,315株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	23,475,762株	2020年3月期3Q	23,495,011株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による大幅な落ち込みから持ち直しの動きが見られたものの、米国や欧州、東南アジア等は依然として厳しい状況が続きました。わが国経済においても、国内外の経済活動が再開する中で、輸出や個人消費等が改善基調に転じましたが、コロナ禍からの本格的な回復には至らず、景気は総じて低調に推移いたしました。

このような経営環境下、当社グループは、新型コロナウイルスの感染防止策を講じつつ、顧客への安定供給に注力いたしました。また、全社経営改革委員会を設置し、大幅な需要の減少に即応した生産体制の見直しによる固定費の圧縮等、緊急収益改善策に取り組んでまいりました。加えて、自動車・産業機械部品事業におけるグループ生産体制の最適化の検討や鉄鋼事業での独自製品の開発・拡販等を推進いたしました。さらに、鉄リサイクル高度化のための選別設備を着工するとともに、製品のライフサイクル全体の環境情報を定量的に開示するエコリーフ環境ラベルを鉄鋼6製品で取得する等、持続可能なESG経営基盤の強化に取り組み、中期経営計画「Growth & Change 2021」を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、第3四半期（2020年10月～12月）には需要は回復し収益が改善したものの、上期の影響が残り、売上高は161,030百万円（前年同期比20.5%減）、営業損失2,491百万円（前年同期 営業利益3,881百万円）、経常損失1,033百万円（前年同期 経常利益3,941百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,165百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益2,519百万円）となりました。

【セグメントの業績】

(鉄鋼事業)

鉄鋼業界は、製造業向け需要が大幅に減少し、粗鋼生産は大きく落ち込みました。その中で、電炉業界は、コロナ禍から回復した中国の鉄鋼需要の急増によって主原料である鉄スクラップ価格が第3四半期に入り急騰する等、厳しい状況に置かれました。

このような環境下、当社グループは、輸出や建設向け販売等に注力し、数量は前年同期を上回ったものの、販売価格の低下により、売上高は53,519百万円（前年同期比4.6%減）となりました。また、緊急収益改善策によるコスト削減に取り組んだものの、販売価格の改善に先行して高騰した鉄スクラップ価格の影響を受け、営業利益は944百万円（前年同期比73.5%減）となりました。

(自動車・産業機械部品事業)

自動車業界は、足元では持ち直しの動きがあるものの、期前半における国内外の需要の低迷や工場の操業停止等があり、世界各国で生産が大きく落ち込みました。また、建設機械業界も、中国に加え、その他地域においても経済活動の再開とともに回復基調となるものの、期前半における需要の低迷が響き、油圧ショベルの生産は減少いたしました。また、鉱山機械につきましても、東南アジアを中心に需要が減少いたしました。

このような環境下、当社グループは、より収益力のある事業構造に向けた改革案を検討するとともに、緊急収益改善策によるコスト削減を実行いたしました。しかしながら、大幅な販売数量の減少の影響を受け、売上高は97,594百万円（前年同期比27.5%減）、営業損失は787百万円（前年同期 営業利益2,672百万円）となりました。

(発電事業)

地球温暖化問題を背景とした石炭火力発電の抑制の動きや価格競争の激化等の影響により、厳しい事業環境が続きました。このような環境下、事業計画に沿って安定した電力供給に努めたものの、売上高は5,520百万円（前年同期比19.4%減）、営業利益は175百万円（前年同期比63.3%減）となりました。

(その他)

土木・建築事業、「トピレックプラザ」（東京都江東区南砂）等の不動産賃貸及びスポーツクラブ「OSSO」の運営、合成マイカ及びクローラーロボットの製造・販売等を行っております。新型コロナウイルス感染拡大の影響によりスポーツクラブや化粧品向けマイカ等の売上が減少したため、売上高は4,396百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益は375百万円（前年同期比60.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、265,751百万円となり、前連結会計年度末比11,092百万円の増加となりました。主に受取手形及び売掛金の増加7,499百万円、現金及び預金の増加2,037百万円によるものです。

負債合計につきましては、162,104百万円となり、前連結会計年度末比11,246百万円の増加となりました。主に短期借入金の増加9,842百万円によるものです。

純資産合計につきましては、103,646百万円となり、前連結会計年度末比153百万円の減少となりました。主に自己株式の増加231百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の世界経済は、現下の新型コロナウイルス感染症の再拡大による社会経済活動の制限や自粛、米中対立の行方等により、情勢が不安定であり、当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が継続するものと思われま

す。2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月5日発表の内容から変更しておりません。なお、この判断は、本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,811	25,849
受取手形及び売掛金	44,764	52,264
商品及び製品	20,708	17,924
仕掛品	5,529	5,685
原材料及び貯蔵品	14,018	13,716
その他	6,271	7,399
貸倒引当金	△28	△54
流動資産合計	115,074	122,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	92,392	92,651
減価償却累計額	△62,551	△63,899
建物及び構築物(純額)	29,841	28,751
機械装置及び運搬具	209,235	211,321
減価償却累計額	△162,259	△166,355
機械装置及び運搬具(純額)	46,976	44,966
土地	15,256	15,198
リース資産	5,141	2,528
減価償却累計額	△3,625	△1,388
リース資産(純額)	1,515	1,140
建設仮勘定	4,778	6,477
その他	43,460	43,976
減価償却累計額	△41,383	△42,023
その他(純額)	2,076	1,952
有形固定資産合計	100,445	98,487
無形固定資産		
その他	4,637	4,071
無形固定資産合計	4,637	4,071
投資その他の資産		
投資有価証券	24,774	29,547
長期貸付金	479	482
繰延税金資産	1,360	1,401
退職給付に係る資産	295	295
その他	7,642	8,730
貸倒引当金	△50	△48
投資その他の資産合計	34,500	40,407
固定資産合計	139,584	142,966
資産合計	254,659	265,751

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,562	24,013
電子記録債務	12,687	16,937
短期借入金	15,495	25,338
1年内償還予定の社債	5,500	5,500
リース債務	433	244
未払法人税等	502	668
その他	14,872	13,033
流動負債合計	74,053	85,736
固定負債		
社債	27,300	27,300
長期借入金	28,486	26,719
リース債務	572	402
繰延税金負債	4,649	6,122
執行役員退職慰労引当金	175	222
役員株式給付引当金	39	36
役員退職慰労引当金	46	30
定期修繕引当金	290	401
退職給付に係る負債	12,285	12,371
資産除去債務	355	357
その他	2,602	2,402
固定負債合計	76,805	76,368
負債合計	150,858	162,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,983	20,983
資本剰余金	18,606	18,606
利益剰余金	61,444	59,279
自己株式	△1,711	△1,943
株主資本合計	99,323	96,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,440	8,807
繰延ヘッジ損益	△5	△10
為替換算調整勘定	△1,401	△2,429
退職給付に係る調整累計額	△625	△592
その他の包括利益累計額合計	3,409	5,775
非支配株主持分	1,068	945
純資産合計	103,800	103,646
負債純資産合計	254,659	265,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	202,628	161,030
売上原価	173,564	141,548
売上総利益	29,063	19,482
販売費及び一般管理費	25,182	21,974
営業利益又は営業損失(△)	3,881	△2,491
営業外収益		
受取利息	54	106
受取配当金	692	657
持分法による投資利益	973	1,283
雇用調整助成金	—	529
その他	202	258
営業外収益合計	1,923	2,836
営業外費用		
支払利息	462	381
為替差損	419	604
その他	980	392
営業外費用合計	1,862	1,378
経常利益又は経常損失(△)	3,941	△1,033
特別利益		
固定資産売却益	15	54
投資有価証券売却益	17	19
特別利益合計	32	74
特別損失		
固定資産売却損	2	4
固定資産除却損	183	128
その他	1	—
特別損失合計	186	133
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,787	△1,092
法人税等	1,228	1,081
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,559	△2,174
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	40	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,519	△2,165

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,559	△2,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,630	3,360
繰延ヘッジ損益	0	△5
為替換算調整勘定	△546	△1,062
退職給付に係る調整額	29	33
持分法適用会社に対する持分相当額	△264	△39
その他の包括利益合計	850	2,285
四半期包括利益	3,409	111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,381	200
非支配株主に係る四半期包括利益	28	△89

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。